

農業分野で輝く  
**塚本信子さん**



農業委員としての活動をきっかけに、農地を有効利用しつつ触れ合いの場を創出する体験型農園を運営している。地域農業の女性リーダーとして愛知県が認定する「農村生活アドバイザー」としても活躍中。

**みんなで育てる農園**

2008年から6年間、農業委員として活動していた塚本さん。委員の時に、周りに休耕地が多いことを知り、農園を始めました。ただ土地を貸すのではなく、農業経験のない人たちと一緒にみんなで野菜を作っていくのがコンセプト。塚本さんを中心に、多種多様な人が交流しながら協力し合って野菜を作っています。「自分も相手も楽しめる形にしたかった」と話すように、有効な土地利用をしつつ利用者に喜ばれるような農園を目指しています。



**まずは一步踏み出して**

農業には、女性が活躍する場面がたくさんありますが、男性が表に出ることが多く、女性は陰に隠れてしまいがち。塚本さんは「外に出ると人との交流が増え、視野が広がると思います」と女性の積極的な社会参加を促します。

興味のある体験型農業という活動を知り、行動に移したことで、自分のやりたかったことを見つけた塚本さん。「農業に限らず、まずは行動を起こし、自分の長所を生かせる場所を見つけては」と笑顔で話してくれました。



学生レポーター 不破

**取材を終えて**

**不破周子さん**

男性に比べて女性が少数派な産業でも、目標とやりがいを持って仕事をしている姿が印象的で、憧れを持ちました。

今後も学生目線で、若い世代の人が働くことに興味を持ってもらえるような情報を発信していきたいと思っています。

**中島祥那さん**

2社の取材に参加しましたが、笑顔で話していただいたことが印象的でした。経営者として働きやすい環境を模索し続けることや現場視点としてチャレンジして技術を身につけることなどの話を伺い、性別年齢問わず、イキイキと仕事をしていると感じました。

**太田泰雅さん**

アットホームな雰囲気とONE TEAMというのを感じました。職場の中でのコミュニケーションがとても重要視されていたのが印象的で、特に上司として部下の仕事やプライベートに関して適切な距離感を意識してコミュニケーションを取っていると話していたことが心に残っています。

建設現場で輝く  
**泉美晴さん、田中江梨さん**  
(写真左) (写真右)



(株)大泉建設で勤務し、主に建設現場で重機や工具を使用して基礎工事や外構工事を行っている。

泉さんは勤務歴約20年のベテラン。田中さんは事務職から転職し、建設業に従事し始めて3年目。2人とも現在子育て中。

**性別差のない職場**

建設現場で活躍する泉さんと田中さん。男社会と思われがちな業種ですが、2人とも待遇について男女差を感じることはほとんどないと口をそろえます。身体的な能力差を実感することはあるものの「次々に新しいことが学べて楽しい」と泉さん。田中さんも「いろんなことができるのが刺激的です」と笑みをこぼします。



▲スコップを使い作業する田中さん

**家庭生活との両立**

身体的に負担がかかる業務内容であるため、帰宅時にはすでに疲労困憊。しかし、家事・育児もこなしているという2人。そのような状況の中でも、子どもの学校行事や急な体調不良などで休みが取りやすいことなど、職場の理解が深いことや家族のサポートがあるからこそ続けられるそうです。また、髪型やネイルなどに制限がなく、自分らしく仕事ができることも今の職場で今後も仕事を続けていきたい要因だとか。

大変なことも多い中で、楽しげに話をする2人の姿が印象的でした。

学生レポーター 中島、不破



大学生が日本女性会議に関わるモノゴトを伝える

**ミライクNews**

Vol.1

ミライク会議は、たくさんのボランティアによって成り立っています。その中で、学生ジャーナリストとして参加している大学生が取材した内容を今号から毎月1日号に掲載していく予定です。

今号は、市内で女性活躍の推進に積極的に取り組んでいる企業と、さまざまな現場で活躍している女性にインタビューしました。

今回は、輝く企業と女性にインタビュー!



不破周子さん 中島祥那さん 太田泰雅さん

刈谷市ハーモニーカンパニー認定企業

**(株)スギテクノ**

1995年創業。市内に4工場社屋があり、主に部品保護材のリユースや鋼材・鋼管の金属加工を行っている。環境マネジメントシステムISO14001を取得するなど、地球環境に配慮した事業に力を入れている。従業員64人のうち、32人が女性。



▲スギテクノの皆さん(右から錦主任、道古専務、角さん)と学生ボランティア

**働きやすい職場へ**

(株)スギテクノは、女性活躍推進に積極的に取り組み「刈谷市ハーモニーカンパニー」に認定されたり、きらりと光る挑戦企業として中小企業コンシェルジュによって選ばれる「輝く☆ザカリヤカンパニー」に名を連ねたりするなど、女性が働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

道古専務は「プライベートと仕事のバランスを重視して、子育て中、介護中の人でも働きやすい環境を整えています」と話します。

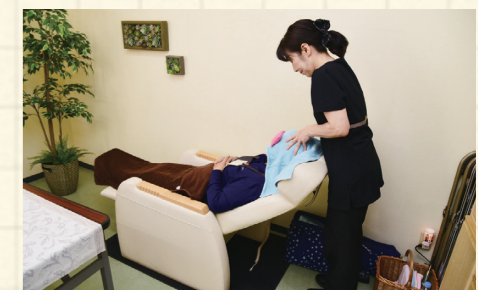
現在、4歳の子どもを子育て中の角さんも「子どもの急な病気の時も上司や同僚の理解があり、休みが取りやすく、助かりました」と働きやすさを実感しています。



▲スギテクノで働く皆さん

**福利厚生充実**

働きやすい職場にするための取組として、福利厚生にも力を入れているそうです。例えば、セラピストを招き、休憩時間に10分程度施術を受けられる制度の導入や事務所内にフィットネスルームを設置するなど、より働きやすい職場にするための工夫が見られました。さらに、介護中の職員向けのランチ会を開催したり、交流イベントを行ったりすることで従業員がお互いの状況を理解し合い、頼り合うのが当たり前の雰囲気生まれているそうです。



▲マッサージを受ける従業員

**誰もが働ける環境づくり**

外国人や退職した高齢者の採用も積極的に行っています。錦主任が「我が社で働く外国籍の従業員は勤勉で吸収力があると感じます」と評価するように、国籍などに関係なく一人一人の従業員を大切にしている姿が見られました。

生活と仕事のバランスを考えた制度が整っており、多様な人材が働きやすい職場環境を目指していると感じました。



▲フィットネスルーム

学生レポーター 中島、太田